

## 1人1人の成長を支える 少人数学級の推進を



▲ 渦が森小学校 (9月23日)



東灘小学校 (9月21日) ▶

小学校4年生でとどまっている35人学級。区内の小学校を訪問し、現状をお聞きしました。ある校長先生は、「小5で40人学級になると、身体は大きくなるのに教室の大きさは変わらず密度が高い」、また別の校長先生は、「思春期で1人1人に目配りや一声かけることが大切だが、それが困難」と述べられました。これらの言葉を紹介し、政府・財務省の教職員減らしの姿勢を批判しました。

いじめや不登校をはじめ生徒へのきめ細かい対応が切実に求められる今、増員こそ必要です。「国待ちでなく、県独自に35人学級をすすめるべき」と訴えました。

高井教育長は、「35人学級は国で措置すべき。県独自の拡充は考えていない」「定数改善のために国に学校現場の実情を伝える」と答えました。

## 禁煙支援、喫煙防止教育など 総合的なタバコ対策を

現在、兵庫の喫煙率は男性31.4%、女性8.7%で、県は2020年に10%まで減らすという目標を持っています。

きだ県議は、がんを含む30種類以上の疾患と喫煙との因果関係を確実とした厚労省の有識者会議のまとめを紹介し、県民の健康と命を守るため、タバコ対策に本腰を入れることを求めました。

①健康診断や会社での取り組みへの支援、②学校で全生徒を対象にした「最初の一本を吸わせない」喫煙防止教室、③受動喫煙防止の推進一を提案。



県当局は、「各種健診での禁煙指導、企業の禁煙の取り組みへの助成などを行っている。小中の防煙教室をすすめる。受動喫煙防止は実態調査を踏まえ効果的な対応を検討する」と答弁。

## 借金重ね、料金値上げの 高速道路計画は見直しを

兵庫県は、高速道路の長さが全国2位。高額な道路建設は、国・県の借金を増やし、財政圧迫の要因となっていますが、さらに名神湾岸連絡線や大阪湾岸道路の延伸などが計画されています。

また、阪神高速の料金を大幅値上げし、新たな道路建設の財源にあてる案の検討もされています。きだ県議は、計画の撤回・見直しを求めました。

## 借り上げ住宅から 被災者追い出さな

借り上げ住宅について、「希望する人全員の継続入居」を求める立場で、県の対応の改善を迫りました。県は改善を約束し、「きめ細かく弾力的に対応」と答弁。

## 自然学校 トライやるウィーク 特別支援学校交流・体験チャレンジ などの県補助を削らないで

小5の「自然学校」、中1の「わくわくオーケストラ」中2の「トライやるウィーク」、特別支援学校「体験チャレンジ」などは、県が始めた体験教育です。県は神戸市に対するこれらの補助を「行革」と称して、カットしようとしています。きだ県議は県補助を維持し、体験教育に責任を持つよう求めました。

## 10月に出された請願

○賛成 ×反対

請願の内容	共産	自民	公明	県民 (民進含む)	維新
県で中3まで子どもの医療費無料化を	○	×	×	×	×
学校給食の無償化へ県の財政支援を	○	×	×	×	×
私学助成の補助充実を国に求める	○	○	○	○	○

## 災害長期避難者への 支援充実を求める請願 可決

福島県などからの「自主避難者」への支援打ち切りが問題となる中、長期の避難者に対する支援の充実を求める請願が全会一致で可決されました。

## 聴覚障害者の方がたの要望を受け、懇談

県内の聴覚障害者団体の方がたから、「ろう学校で手話言語教育が行われるよう教職員の手話習得に対し支援を」「手話通訳者派遣事業の拡大」など切実な要望を受け、懇談しました。来年度予算に反映されるよう、県当局に求めています。



▲ 県立聴覚障害者情報センター運営団体の方がたと懇談 (10月4日)

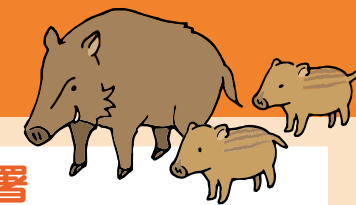
## イノシシ被害対策

きだ議員はイノシシによる人身被害をなくすため防護柵設置、餌付け禁止の強化、パトロールなど対策を求めてきました。

件数は減ったとはいえ「イノシシに荷物を奪われ、転倒」(10月、岡本地域)など、依然として被害が起こっています(4~8月の東灘区での人身被害件数は26件)。

予算と人員の確保を県に求めるとともに、国に対しても支援を求めています。

イノシシを目撃したり、被害にあった時は右記まで連絡・相談を。



東灘警察署

☎ 854-0110

あるいは 110番

神戸市鳥獣相談ダイヤル

☎ 333-4408

8時~21時、年中無休